

## 第1回航空気象研究会の開催のお知らせ

第1回航空気象研究会を下記要領で開催します。入場は無料です。

日時：2007年2月2日（金）13時30分～17時30分

場所：気象庁大会議室

発表題目（発表順）：

1. 一斉機上観測と国内悪天予想図の検証  
庄司桂一郎（気象庁予報部）
2. 台風第21号に伴う羽田空港の突風被害  
—2004年9月30日—  
山下芳雄（東京航空地方気象台）
3. 2005年12月22日の中部国際空港における大雪について  
服部 貴・大野滋規・高 不二夫  
（中部航空地方気象台）
4. 成田空港における大雪の事例解析  
—2006年1月21日の事例—  
外山奈央子（成田航空地方気象台）
5. 海霧の鉛直構造—太平洋沿岸における粒径観測  
奥田智洋・遠峰菊郎・中嶋康裕・山尾理恵子  
（防衛大学校地球海洋学科）
6. 航空自衛隊百里基地における霧発生時の気象状態について  
山尾理恵子・遠峰菊郎・菅原広史  
（防衛大学校理工学研究科）
7. 房総局地前線による視程障害現象  
菅原広史・松本三展・遠峰菊郎  
（防衛大学校地球海洋学科）
8. 積乱雲雲頂高度予測手法の開発と積乱雲域予測手法の改良  
工藤 淳（気象庁予報部）
9. 小松飛行場における空港気象ドップラーレーダー観測について  
紫村孝嗣（防衛庁小松気象隊）
10. 観測を始めた空港気象ドップラーライダー—紹介—  
丹野咲里（気象庁観測部）・  
山本健太郎（東京航空地方気象台）
11. 3次元走査型ドップラーライダーで検出した様々な晴天乱流の成因と構造  
藤吉康志（北海道大学低温科学研究所）
12. 航空交通管理における気象情報の利用のされ方  
原田隆幸（航空局航空交通管理センター）
13. 対流圏中・上層において風の鉛直シアが運航に及ぼす影響  
水谷洋之・吉野勝美（全日本空輸株式会社）
14. Aircraft Turbulence/Windshear の予知の限界—JA8903の浜松上空の事故（2002年10月21日）に関連して—  
中山 章（日本操縦士協会）
15. HARIMAU（海大陸レーダーネットワーク構築計画）におけるレーダー観測体制と航空関係機関へのリアルタイム情報提供について  
森 修一（海洋研究開発機構）